



秋色に染まるキャンパス

例年より短く感じられた秋。慶應義塾では学園祭や体育会の活動などを通して塾生たちが活躍しました。学園祭では各キャンパスそれぞれの個性が光る企画が催され、塾生と来場者の笑顔にあふれました。6年ぶりに信濃町キャンパスでの対面開催が復活した四谷祭には今年度から薬学部も参加。医学部・看護医療学部・薬学部の医療系三学部が力を合わせた新たな形での再始動となりました。木々の色の移り変わりとともに秋の趣を深めていくキャンパスには、吹く風の冷たさとは裏腹に塾生たちの熱気が満ちていました。

TOPICS

本誌『塾』について

『塾』は慶應義塾と塾生、保護者を結ぶコミュニケーションツールとして1963（昭和38）年に創刊されました。年4回の発行のうち、冬号については2011年より「社中特別号」として塾員の皆さまにもお届けしています。春（4月）、夏（7月）、秋（10月）の各号やバックナンバーは、義塾公式Webサイトにてお読みいただけます。ぜひご覧ください。

慶應義塾Webサイト『塾』バックナンバー [URL https://www.keio.ac.jp/ja/about/learn-more/publications/juku/](https://www.keio.ac.jp/ja/about/learn-more/publications/juku/)
HOME → 慶應義塾について → もっと知る → 広報誌・パンフレット → 塾



『塾』バック
ナンバー

C O N T E N T S	演説館 皆さまとつながり続けるために 常任理事 駒形哲哉	1	MEDICAL OFFICE 糖尿病関連腎臓病治療の新時代 医学部内科学教室（腎臓・内分泌・代謝）教授 林 香	21
	特集 塾長、今日も全力。 ——伊藤公平塾長のとある一日	2	サークルNOW ●ポケ問のすゝめ ●K-dush2	22
	塾員山脈 日本大学文学部准教授/次世代社会研究センター（RINGS）長 大澤正彦 君	8	一貫教育校の広場 国際交流が育む塾高の人的ネットワーク 高等学校教諭 北島伸哉	23
	半学半教 ●商学部教授 浅野敬志 ●看護医療学部准教授 藤屋リカ	12	社中の丘	24
	ステンドグラス 新時代を先導した「福澤諭吉の事始め」	14	慶應義塾のこの1年	27
	学部長・大学院研究科委員長紹介	16	Portrait 環境情報学部1年 矢島聖蘭 君	32
	談話室 わたしのお気に入り 理工学部准教授 荒木文果	19	BOOK WINDOWS	33
	FRONTIER 未来の健康を街ごとデザインする一麻布台ヒルズ発・ウェルビーイング実装プロジェクト 医学部医科学研究連携推進センター教授 岸本泰士郎	20	萬來舎	34